

化学物質と環境円卓会議

科学報道と メディアリテラシー

2005年3月2日

上智大学 音好宏

1

< 科学報道とメディアリテラシー >

1. 社会の認知プロセスと報道

私たちは社会をどのように認知しているか

2. 科学報道に何が期待されているか

3. メディアリテラシーとは

情報社会を生きるパスポート

4. なぜ、いま、メディアリテラシーなのか

メディアリテラシー：メッセージを主体的・批判的に読み解く能力

メディアとメディア利用者の関係性の探み直し

5. メディアリテラシーと科学報道

メディア利用者は、科学報道とどのように向き合っていくか。メディアは何を留意しなければならないか。

2

1. 社会の認知プロセスと報道

私たちは社会をどのように認知しているか

社会認知における心理学的特質

- ・ 認知・理解の濃淡 ...

現代人の社会認知の特質

- ・ メディア・コミュニケーションへの依存度の高まり
メディアの多様化 (1990年代以降)
- ・ メディア信頼度・メディア依存の質的变化
第2の 2 Step Flow ex. 携帯ネットワーク
- ・ 社会関心の分散化
デジタルデバイド

3

2. 科学報道に何が期待されているか

科学報道の特質

- ・ 背景には、科学主義、進歩主義
戦後日本の成長期: 絶対的な科学信仰
1970年代の低成長期以降: 科学信仰への疑義の芽生え
ex. 公害報道
- ・ 記事に求められるのは、専門的な内容を平易に説明すること
書かれ手、読み手の不満
- ・ 環境問題を扱う科学報道では、メディア空間が関係者の思惑
の衝突の場
客観報道主義 vs 関係者
メディアは何をどう選択し、伝えるか。

4

3.メディアリテラシーとは

メディアリテラシーは、情報社会を生きるパスポート

メディア環境の変化 多メディア・多チャンネル化状況
メディア依存への高まりと、メディアに対する主体性の確保
ex. メディアにも意図がある (= representation)

社会の情報化に必須の基礎体力として、メディアリテラシーが注目
「メディアで学ぶ」とともに、「メディアを学ぶ」を

5

4.なぜ、いま、メディアリテラシーなのか

メディア批判とその対応

背景には、
人権意識・プライバシー意識の高揚
メディア(特にテレビ)表現への批判
...暴力表現、性表現 etc.

メディア規制とは別の手法としての「メディアリテラシー」

教育界の反応
メディアリテラシーと情報リテラシーの共振
「ゆとり教育」と総合的な学習の時間

メディアとのより良い共生のための能力としてのメディアリテラシー

6

5.メディアリテラシーと科学報道

読者・視聴者・消費者

科学報道の特質を理解し、複眼的な視点で向き合う

メディア

客観報道主義が改めて問われる cf. スクープの誘惑
専門知識を持った記者の重要性 ...難しいことを平易に

行政・企業

行政はもとより、企業の公共性・公開性が問われる
cf. J.Nye Soft Power